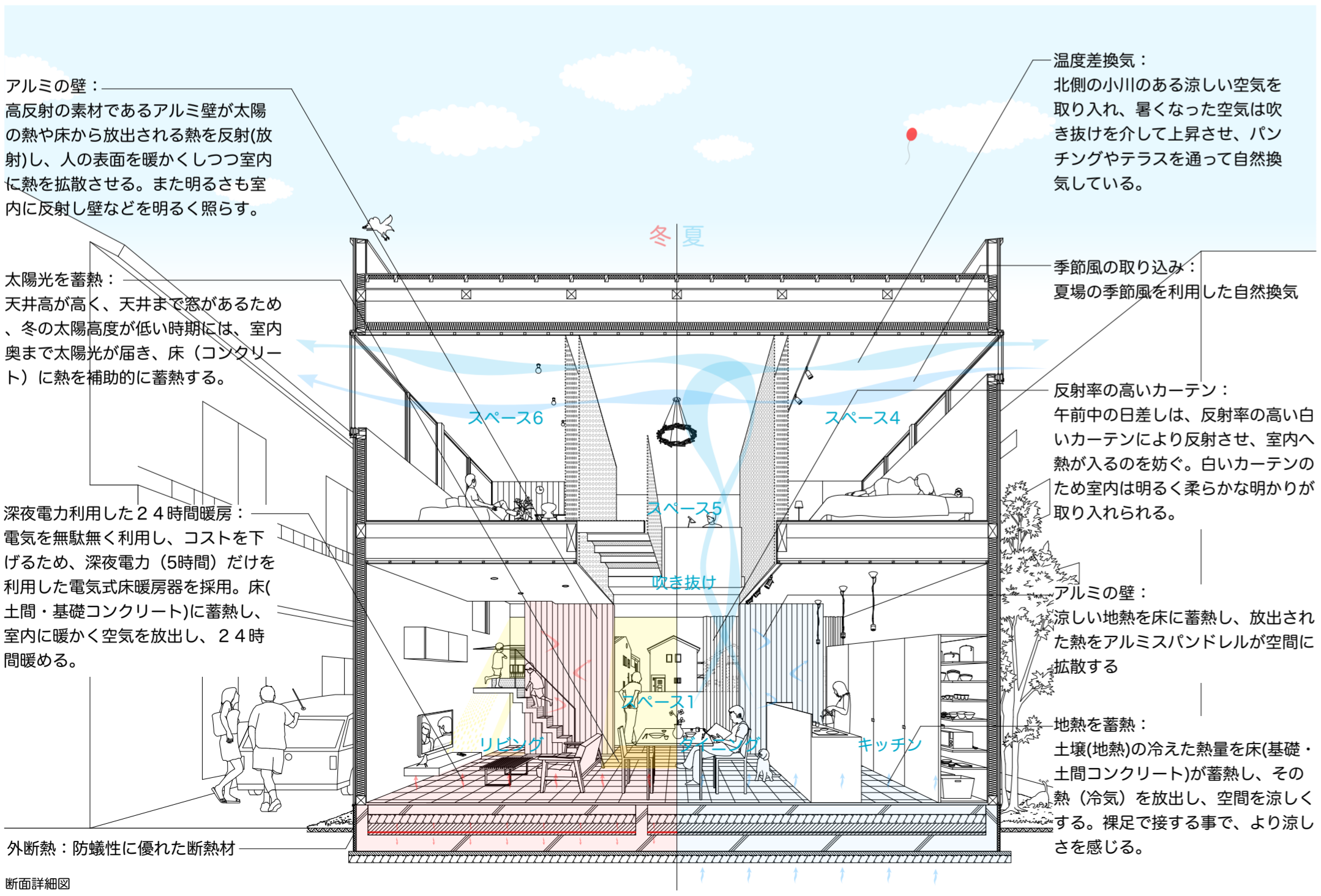




温熱環境のこと

床全面に蓄熱量の高いコンクリートを敷き、夏は地熱の涼しさを蓄熱し、冬は深夜電力を利用した熱源によって暖かさを蓄熱する24時間暖房としています。そして、それら熱を拡散するために壁は、床から天井までに熱反射率の高いアルミを張っています。中間期は、家の中央に設けた吹き抜けが温度差換気をし、北側の水路の涼しい空気も取り入れています。そして、壁がパンチングのため、部屋全体に風が流れるようになっていて、同様に熱も部屋全体に広がるようになっています。



パンチングの壁により、風や熱が家全体に広がる。また時間と共に刻々と表情を変える心地よい空間



分譲地の行き止まりの道路は各世帯の交流の場となる。三輪車でも入れる段差無しの広場として庭を提供

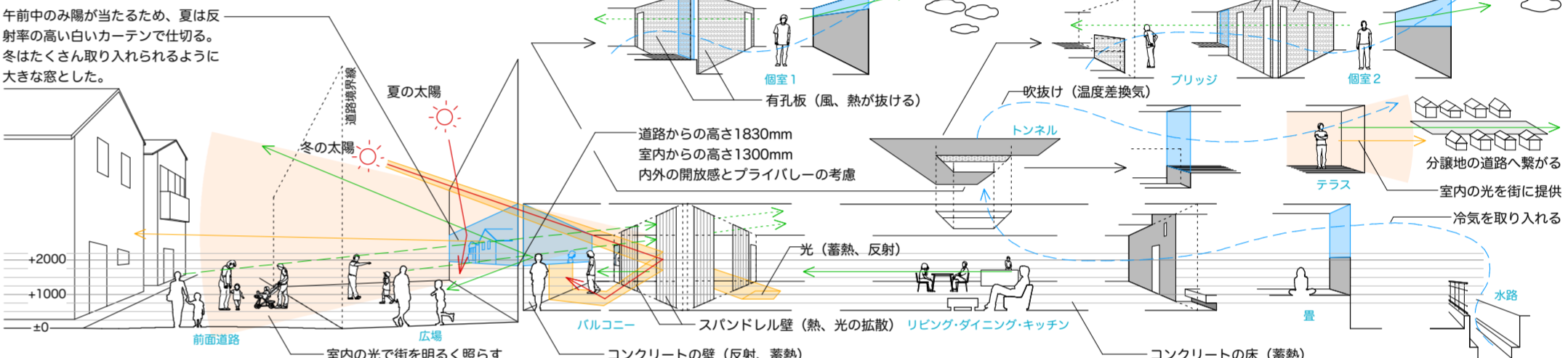


あかりを灯す家

住まい手は、下記の2つのことを特に重要な要望として考えていました。

- ・家族の気配を感じるワンルーム空間
- ・分譲地の他の7家族との交流しやすい家

そのため、私たちは「温熱環境」と「地域環境」に着目し、住まい手が心地よく感じる「開放的でやわらかいつながり」を持った家をつくりました。それは、1年を通して快適に住まえる空間であり、地域を明るくする提案でもあります。



地域環境のこと

この敷地の前面道路は、分譲地にある行き止まりの道路のため、遊び場や情報交換の場として使われています。そこで、庭と道路をフラットにし、三輪車でも入り易いように庭を広場として開放しました。また「生活で使う明かり」を提供し、その広場や街を明るくする事を考えています。この考え方が街中に広がれば、街は明るくなり、安全性も高まります。そして、それは省エネにもつながります。「マッチ売りの少女」が窓の明るさに幸せを感じたように心が暖まる街が広がっていくことを願っています。

